

「のびのびとした子ども」を

四月も過ぎ五月に入ると、初夏の候となり、子どもたちの周囲は、俄かに活気づいて来ます。幼・保育園、小・中・高等学校、大学と、子どもたちの生活は、新しい集団の生活にボツボツ慣れ、また、その生活の中で疲れも始まる時期でもあります。

希望に胸をふくらませ「新しい集団」(園や学校)の中へ、勇躍踏み出した子どもが、よりその希望の充実に向かう努力を始めるか、あるいは逆に「新しい集団」の中で一カ月の生活で、将来への希望をなくしてしまうかの大切な時期です。

集団生活の中での疲れや、きついことにも堂々と立ち向かい、それに耐えて行き、自分の道を切り開くことのできる子どもは、幼少から「のびのびとした子ども」として育てられています。

昌子武司先生は、「のびのびとした子ども」を育てる家庭という論説の中で、「のびのびとした子どもとは、一、個性的であること、二、情緒の安定した子ども、三、エネルギーが充実していて常にフル回転している子ども…であると言っておられます。

また先生は、「のびのびとした子ども」を育てる家庭と言うのは、一、子どもの個性が常に認められ

ていること、二、母親だけに任されているのではなく、父親も参加すること、三、常に子どもの立場に立って考えられること、四、親が子どものモデルとなっていること、五、家庭、親が安定していること…と説かれています。

子どもを育てると言うことは、「木」を育てるのと同じで、日光を与え、雑草を絶ち、必要な水と肥料を与え、そして待つことで、こうして育ったのは「木」自身であって『いらぬおせっかいや、干渉をしすぎないこと』とまとめることができるでしょう。

青少年育成会のしおり

一、育成会長さんへ

次代を担う青少年を、健全に育成することは、私たち大人に課せられた重要な責務であり、すべての市民の願いです。

青少年育成会には、青少年と共に伸びる地域づくりへの役割が期待されています。活動停滞の育成会を見直し、活力ある育成会を作りましょう。

二、育成会活動の活性化

育成会活動は、青少年の健全育成であり、ふるさとづくりでもあります。「子どもは、地域の中で育ち、地域は子どもで結

ばれる」と言われています。活力ある育成会活動は、その地域の発展につながります。そしてその活動を推進するのは地域住民の私たちです。

★子どもが主役

子どもたちが実施する活動や行事は、子どもたちが主役でなければなりません。ややとすると、子どもは、脇役になります。

大人は子どもたちの願いを汲み取り、適切な助言と指導と援助をして、活動や行事が遂行されるように計画・実行・反省まで子どもを主役にして、進めさせたいものです。

★子どもクラブ(子ども会)を組織しましょう

「金を出しても口出すな、口を出しても手を出すな」と言います。過保護・過干渉になりがちな大人への戒めのことばでしょう。

育成会の中へ「子どもクラブ」を組織して、それにより、活動や行事の計画・実行・反省等を自主的に実践させ、大人は「子どもクラブ」の活動が成功できるように、予算や他の物心両面の援助をして「脇役」でありたいものです。

※育成会のことでの問い合わせは、文化会館内
青少年育成会連合会事務局へ

☎(43)1321

つる子どもまつりのお知らせ

今年で二十四回を迎える『つる子どもまつり』を五月の第三日曜日に開催します。午前中は、工作や人形劇などの『く』と呼ばれる各コーナーに分かれて過ごします。午後からは、当日来た人みんなでグラウンドをいっぱいに使って遊びます。ご家族そろってお弁当を持って遊びに来てください。また、当日お手伝いして下さる方を募集しています。

日時 5月16日(日)

午前9時～午後4時頃

受付 午前8時30分

※雨天決行

会場 都留文科大および周辺

連絡先 宮原 ☎(45)6829

主催 第24回つる子どもまつり

実行委員会

手話講習会

期 間 6月9日～10月20日
毎週水曜日 講習料無料
時 間 午後7時～9時
場 所 文化会館
主 催 手話サークル千羽会
後 援 市福祉事務所
問合先 笠井紀枝 ☎(43)4103

手話ダンス教室

期 間 5月28日から隔週(金)6回
講習料 無料
時 間 午後7時30分～9時
場 所 文化会館(小ホール)
主 催 山梨手話ダンスの会
後 援 千羽会市社協
問合先 市社会福祉協議会
手話のわからない人も歓迎
当日受付可

石原英次作品展



場所 ふるさと会館1階展示ホール
日時 5月11日～16日
午前11時～午後8時
(初日は午後12時から、最終日は午後6時まで)
自然、環境または星、宇宙にこだわるイメージネーターによるリトグラフ(平版画)作品を中心に、水彩、立体など約30点を展示します。
問合先 ☎(43)8252 熊坂栄太郎